

令和8年2月8日
執行
(選挙すべき議員数1人)

大分県選挙管理委員会 大分県第3区選挙公報

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



未来への責任を果たすための 岩屋たけし 8つの取り組み

それぞれの政策毎に
岩屋たけしがビデオ
で説明しています。
是非ご覧ください。



国際政治や国政が大きく動く局面では、
声の大ききより、判断の確かさが求められます。
私はこれまで、外交・安全保障の分野で国の進路を
左右するような重い決断に耐える経験をして
まいりました。
いま、この国に必要なのは、他者を攻撃し、あげつらう政治
ではなく、他者に常に眼差しを向ける包摂の政治です。
パフォーマンスに走らず、騒ぎ立てず、
多くの人の声に静かに耳を傾けて間違いない道を選ぶ。
私はこれからも、この国の「未来」に責任を持ち続けます。

未来への責任。 日本を、正しく前へ



大分三区・自民党公認
岩屋
たけし



■激動する世界の中で日本の平和と国益を守る

現実的でバランスの取れた外交と、着実な防衛努力によ
って、日本の平和と国益を守り抜きます。

■社会保障制度を持続可能な形へ改革する

人口減少・少子高齢化に対応するため、国民的議論を通じ
て「税と社会保障の一体改革」を進めます。

■防災庁を設立し、災害に強い国をつくる

防災庁を新設し、迅速な対応体制と国土強靱化を一体的
に進めます。

■外国人との秩序ある共生社会を築く

共生に必要な支援を充実させる一方、違法外国人には
厳格に対応します。

■物価高に負けない賃上げと成長を実現する

一時しのぎではなく、成長分野への重点投資で日本経済
の底力を高めます。円安は正にも取り組みます。

■令和の地方創生を本気で進める

臨時交付金に頼らず、地方が自由に使える安定的な税財
源を確保し、地域の自立と活性化を支えます。

■大分の未来を支える交通インフラを整える

豊予海峡トンネル構想の推進、東九州新幹線の格上げ、
中津・日田道路、中九州道路の早期完成を目指します。

■観光立国・観光立県を実現する

2030年にインバウンド6000万人と、
温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録を目指します。

経歴 昭和32年8月24日別府市生まれ。早稲田大学政経学部政治学科卒業後、代議士秘書を経て大分県議会議員初当選（29歳）
平成2年に衆議院議員初当選（現在10期目）防衛大臣政務官・外務副大臣・自民党国防部長などを経て、平成30年に
安倍内閣にて防衛大臣令和6年 石破内閣にて外務大臣に就任 現在は、「観光産業振興議員連盟」会長・全国温泉議連 幹事長
アニマルウェルフェア（動物福祉）を考える議連 会長

日本を豊かに強く。守ろう！日本を。



日本保守党公認
いわながきょうこ
岩永京子

移民は
もういらん。

移民政策の抜本的見直し

外国人の国民健康保険未納率は4割近く
に上り福祉のタダ乗りも深刻化。今の野
放図な移民政策を是正し、日本人が住み
やすく、働きやすく、子育てしやすい国に
しましょう。

食料品の消費税永遠にゼロ

国民の所得は30年上がらないのに、物価は上
がり税金も上がり続けています。毎日生計を
のに不可欠な食品から消費税を取るべきでは
ありません。酒類含む食品の消費税は恒久的
にゼロを主張します。

再エネの賦課金廃止

再エネ賦課金は1家庭
16,752円(年)の上乗せ再エネ
推進政策は百害あって一利なし。環
境を破壊し、電力供給を不安定にし
ます。

ほかにありません！

「日本を豊かに、強く。」する日本保守党の重点政策
日本の国体、伝統文化を守る／安全保障
(憲法改正待ったなし)／議員の家族化を
やる／価値観外交／教育制度の見直し
詳しくはこちらをご覧ください。▼▼▼



1961年大分県別府市生まれ。
大学進学で上京するもストリート・ヒップホップダンスと出会い、「日本ダンス革命」を
スローガンにダンサーとして活動後、渡米。教育、体力科学、リハビリ、エンターテイメント
など多角的にダンスの普及に努めてきた。2010年帰国。東京で活動後、2021年
大分にリターン移住。

比例区は

保守党

とお書きください。



にっぽんほしゅとう
日本保守党

I am
JAPAN

ひとりひとりが日本



のなか
野中
きえ
参政党公認

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする の柱 ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくれます。

2 日本人を守り抜く の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障のものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療**で**健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む の柱 ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくれます。

8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本はみんなの**家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党**

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



野中きえ プロフィール 1984年生まれ、41歳。1児の母。剣道3段。
長年政治に関心だったが、息子が産まれたことで「よりよい日本を子供たちに
につなぐ」ことを真剣に考え始める。参政党の「日本人ファースト」に共感し、
大分3区から「減税」と「土葬の明確な反対」を訴える。

日本の未来を守る3つの柱



国を守る
日本の未来を守る
土台として

主権・安全・文化を守る

- 重要土地・水源の適正管理
- 情報・サイバー分野の安全確保
- 自衛隊の環境整備
- 文化と主権を守る国の姿勢



暮らしを守る
いまの暮らしを守り、
未来につなぐために

地域で安心して
生き続けられる日本へ

- 中小企業・農林水産業の支援
- 高齢者の移動・買い物支援
- 中山間地域の生活維持
- 観光と治安の両立
- 地域医療・交通の確保



未来を守る
子や孫の代に誇れる
日本を残す

教育・子育て・家族の支援

- 日本の文化・歴史を学ぶ教育
- 近現代史を事実に基づいて学ぶ環境
- AI・デジタル・金融教育
- 第一子0歳からの保育支援
- 住宅支援・産後ケア



平野雨龍プロフィール

平成6年(1994年)1月31日生まれ／千葉県出身／
大分県中津市在住／政治団体「雨龍会」代表
2025年7月の参議院議員選挙(東京選挙区)に無所属で立候補。
23万5,411票を得るも落選。
全国各地を歩き、地域の声を国政につなぐ活動を続けている。



平野雨龍
SNS一覧



政党の論理か。あなたの暮らしか。
国会では、政党同士の駆け引きが続いています。けれど、私たちの暮らしは待ってられません。誰の指示でもなく、誰の顔色でもなく、この地域の声をまっすぐ国へ届ける。

日本の未来は、
いま守る。
世代交代。次の日本を担う覚悟



ひらの
平野雨龍
無所属

中道改革連合 「強い国」より「優しい国」

- 不安社会から安心社会へ**
子育て世代や働く女性を支えます。
安心して働き・暮らし・子育てに取り組める、病気になっても安心して治療が受けられる、安心して老後を迎えられる、「安心社会」の実現のため、社会保障の充実を求めます。
- 地方格差をなくす**
STOP! 国の中央集権化
国と地方の地域格差を是正し、地域の特性や環境に即した地域の隅々まで光の当たる政策づくりを。
- 不平等な社会を変えます**
誰もが支え合い、共に生きる優しい社会を。
格差・分断の解消、人権尊重・ジェンダーフリー・多様性を認める寛容な社会を。選択的夫婦別姓制度の実現。
- 人にも地球にも優しい未来**
CO2の排出削減・持続可能な再エネの推進・地球温暖化対策
- 平和を守る**
軍備増強ではなく、理性と協調に基づき
平和外交と国際交渉力で平和を守る。
日米地位協定の見直し、核兵器禁止条約の批准、
日出生台米海兵隊実弾射撃訓練の縮小・廃止

格差社会から
ともに支えあう
共生社会へ



比例区は
中道改革連合
Centrist Reform Alliance

小林かやこは こんな人

1968年(昭和43)アフリカ・エチオピア生まれ。
幼少期をホンコン(英国領下)で過ごし、10歳で帰国。現在、別府市在住。

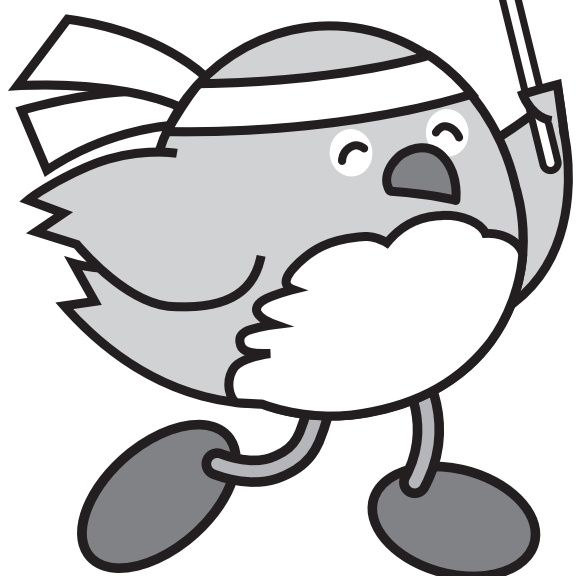
- 学歴** 日本女子大学 文学部英文学科 卒業 / 早稲田大学 第二文学部 卒業
熊本大学大学院 修士課程修了(公共政策学)
- 職歴** 1990年 英国系銀行東京支店ディーリングルーム勤務
1997年 大分県湯布院町に移住
1999年 都市計画コンサルタント会社勤務
2004年 湯布院町議会議員選挙 初当選(1期)
2005年 市町村合併に伴い、由布市議会議員選挙当選、以後3期(計14年)務める
2017年 由布市長選挙に出馬するも落選
2018年 静岡県小山町で任期付特別行政職員として勤務
2019年 東京・永田町で公共政策コンサルタント(政策アドバイザー)
2024年 第50回衆議院議員選挙に大分3区から挑戦するも落選
- 受賞** 第1回 ローカルマニフェスト大賞審査員特別賞
日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2008」
- 家族趣味** 家族：愛猫のアベベ&チー太(ともに保護猫)
趣味：文楽・落語・歌舞伎(学生時代は歌舞伎研究会所属)



中道改革連合公認
小林かやこ

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

明るい選挙



投票日は **2月8日(日)**

大分県選挙管理委員会